

2022 年度後期 課目案内 (*公開講座)

曜日	課目名	単位	本科/専攻科	担当講師
月	*公開講座「詩編を味わう」	4	共通選択	日高嘉彦
月	教会学校論	4	教育専攻科必修	矢野由美 + ゲスト講師
火	*公開講座「グループで学ぶルカによる福音書」	4	共通選択	伊藤世里江
火	教会史Ⅱ(宗教改革～現代)	4	専攻科必修	坂本誠
木	*公開講座「神学入門～信徒の神学を求めて」	4	共通選択	濱野道雄
木	ヘブル語中級	4	専攻科必修	城倉啓
金	教会音楽概論	4	共通選択	江原美歌子 / 小松澤恵
金	説教演習	4	専攻科必修	内藤淳一郎
土	*公開講座「合唱」	2	音楽科必修	山中臨在
土	和声学	4	音楽本科必修	十時節子
	卒業論文	6	専攻科必修	内藤淳一郎
	卒業演奏	6	音楽専攻科	江原美歌子
冬期	*「バプテストの教会形成Ⅱ」 (日本のバプテスト教会の歩みを振り返る)	2	12月26～27日	金丸英子(西南学院大学神学部)

- ☛「専攻科必修」は神学専攻科と教会教育専攻科の必修課目です。
- ☛ 開講曜日および担当講師は変更する場合があります。

<東京バプテスト神学校 後期開講方針>

東京バプテスト神学校後期授業は、10月11日(火)から始まります。その頃のコロナの状況は分かりませんが、ウイルス感染防止の観点から、また、遠隔地からの教師や受講者もおられますので、後期においても、教会音楽科の一部の授業を除いて、基本オンラインで行います(ライブ通信、ビデオ通信)。
なお、12月26(月)～27日(火)の冬期公開講座は、茗荷谷キリスト教会を会場にオンライン併用で行います。

- ①後期始業礼拝は、10月7日(金)を予定する(出席者数の制限、ZOOM 併用)。
- ②授業開始は10月11日(火)を予定する。10月11日(火)～17日(月)は、オープンウィークとする。
- ③受講は、基本オンライン通信受講とする(ライブ通信、またはビデオ通信)。
- ④会議(理事会、スタッフ会、教師会、分科会など)は原則としてオンラインで行う。

- ・後期授業は、教会音楽科を除き、基本オンライン授業にする。
- ・10月から始まる後期授業は、一部教室受講を認めるが、感染リスクを考慮し、人数は制限する。
- ・三密を避けるために、冬期公開講座等の礼拝堂使用の場合は対面受講を40人以内(スタッフ含)に制限する。ただし、コロナの感染状況によって変更もありうる。
- ・後期の通信事務費は、前期同様、1課目5千円にする。
- ・対面授業を必要とする教会音楽科授業は感染リスクを避けるため小規模に分散して行う。また必要があれば通信授業も併用する。
- ・事務局は原則出勤し、講義終了後、講義内容を録画してビデオ配信を行う。



東京バプテスト神学校

〒112-0012 東京都文京区大塚 1-1-18
TEL:(03) 3947-5141 FAX:(03) 3947-5145
メール:seminary@tbts.jp tbts.jp

2022 年度後期 東京バプテスト神学校受講案内

本科・神学専攻科・教会教育専攻科・教会音楽本科・教会音楽専攻科・信徒リーダー養成コース・教会音楽奉仕者養成コース

- 【願書受付】 入学・聴講手続に必要な書類を当神学校に請求してください。
(神学校ホームページからもダウンロード出来ます。)
* 願書に必要事項を記入の上、9月2日(金)までに郵送してください。
* 専攻科・本科・信徒リーダー養成コース入学及び聴講希望者には牧師の推薦が必要です。
(但し1課目のみ試験聴講の方は不要です。)
* 専攻科は、後期入学は受け付けません。「聴講」のみ可能です。
* 公開講座受講者は入学手続き不要です。

- 【試験面接】 9月22日(木)午後6時30分
* 入学・聴講面接
* 教会音楽科は、実技及び楽典の試験と面接を行います。

- 【入学式・オリエンテーション】
10月7日(金)午後6時30分 於:茗荷谷キリスト教会

- 【学 期】 後期 10月11日(火)～2023年2月28日(火)
<冬期休講 12月19日(月)～2023年1月6日(金)>

- 【休業日】 主日、水曜日、国民の祝日(但し2月11日は除きます)

- 【授業時間】 月曜・火曜・木曜・金曜日 午後6時30分～8時30分
* 但し、教会音楽科については土曜日午前9時30分～午後3時30分

- 【入学金】 ・本科 100,000円
・信徒リーダー養成コース 50,000円
・教会音楽奉仕者養成コース 50,000円
* 後期の専攻科入学はありません。

- 【受講料】 ・在学生(本科・信徒リーダー・音楽奉仕者) 1課目4単位25,000円、2単位12,500円
・聴講生 1課目4単位30,000円、2単位15,000円
(* 卒業生は面接、試験、推薦状、入学金、設備費不要)

- 【設備費】 一律5,000円(半年間、前期に10,000円支払い済みの方は不要)

- 【通信受講】 通信受講の場合、1課目5,000円の通信事務費が必要です。

- 【聴 講】 ・どの課目も聴講可能、但し聴講生には卒業・修了資格は与えられません。
・聴講で取得した課目は本科・信徒リーダー養成コース入学時に単位として認められます。
・ある1課目だけ試験聴講したい方の入学金、設備費、牧師推薦状は必要としません。
・卒業生、牧師、後援会会員は1課目4単位30,000円が半額15,000円となります。但し単位は取得できません。

2022 年度後期 課目案内(* 公開講座)

*公開講座「詩編を味わう」 4単位 月曜日 日高嘉彦

「味わい、見よ、主の恵み深さを。」(詩編 34:9a)詩編は、祈りの代弁者です。詩編の作者達が語る、「いつまでなのか」という訴え、「なぜですか」という叫びや怒り、そして「恵みと慈しみが私を追いかける」という信頼、「あなたのような神がいるでしょうか」という賛美は様々な言葉にならない私たちの思いを、私たちに代わって神のもとへ届けてくれます。本講では、文学構造を中心に、歴史批評学やユダヤ教の解釈も紹介しながら、詩編を味わいます。ヘブライ語テキストを基本にしますが、日本語対訳もあるのでそれらを使い、共に詩編の言葉を深く味わいましょう。

・テキスト:『聖書 新共同訳』または『聖書 協会共同訳』

・参考書:文献はクラスで紹介。資料は配布予定。

「教会学校論」 4単位 月曜日 矢野由美 + ゲスト講師

バプテスト教会は、信徒による伝道、牧会、教会学校による教会形成を選び取ってきました。ある時は、脱学校化という問題提起を与えられたこともあります。私たちが教会学校に求めるイメージは人それぞれ違っていると思います。教会生活、背景の違う一人一人が、教会学校の場で共に聖書から聴いていくことを大切にし、豊かな共同学習の場が広がっていくことができると願っています。教会学校の歴史、バプテストの教会学校、全年齢層の教会学校、コロナ禍にあるクラスの持ち方、等々、それぞれの教会の関わりを授業で互いに分かち合いながら、教会の共同学習について対話することを大事にしていきます。今回は、ゲストとして 4 名の牧師先生にそれぞれの教会学校について語っていただきます。

・テキスト:教会学校ハンドブック、教会員手帳、聖書教育誌(連盟出版)

・参考書:キリスト教教育事典(日本キリスト教団出版局)、「人生の四季の中で」水口洋著(いのちのことば社)

*公開講座「グループで学ぶルカによる福音書」 4単位 火曜日 伊藤世里江

ルカによる福音書を「グループで学ぶ」ことを大切に、参加者と一緒に学んでいきます。下記のテキストを参考に、ルカによる福音書の箇所をわたしたちの身近な課題とつなげながら、それぞれの受けたことを分かち合うことを大切にしていきます。細かく注解的に学ぶというより、ルカによる福音書の全体像を見ながら、自分たちの信仰生活につながる新しい視点を見つけることができればと思います。はじめて聖書を学ぶ人も自分のグループにいと想定して、はじめてルカによる福音書を読む気持ちで、共同学習を経験できればと思います。後半 25 分は小グループに分かれてのディスカッションタイムとします。ルカによる福音書に記録させているイエス・キリスト探しの旅を、ぜひ一緒に。

・テキスト:「現代聖書注解スタディ版 ルカによる福音書」(T.W.ウォーカー、教団出版局、要購入 2,640 円)

・参考書:「現代聖書注解 ルカによる福音書」

「教会史Ⅱ」 4単位 火曜日 坂本誠

本講義においては、宗教改革～現代までのキリスト教史の流れを理解し、把握することを目標に致します。宗教改革は英国、ドイツ、スイス等で起こりますが、それを中心にみていきます。更に、近代から現代にかけて、様々な神学が流入する中で戦争が起こり、教会がそのような状況にどのように対処していくかを考察していきます。その事を通して現代に生きる私たちの教会がどのような姿勢で臨むべきかを共に学びたいと願います。評価は「出席」「レポート」を予定していますが、授業の中で、発表を担当していただき、その後に講義を行う形態をとります。

・教科書:『キリスト教史 下巻 増補新版: 宗教改革から現代まで』石田学・岩橋常久訳、新教出版社、6,490 円

*公開講座「神学入門～信徒の神学を求めて」 4単位 木曜日 濱野道雄

神学とは何か、と一緒に考えていきます。特に、バプテストでは勿論、今後、日本の教会でより求められる「信徒の教会」に仕える学としての神学を学びましょう。神学は近代以降、聖書神学、歴史神学、組織神学、実践神学という 4 分野に分けられることが多くあります。そう分けることの弊害も考えつつ、便宜的にその分類に沿って概要、トピックス、課題を概観していきます。授業では、前回授業の応答への再応答、講義、質疑応答、神学テキスト講読、ディスカッション、授業への応答を毎回行います。単位取得者には、毎回の神学テキストから、その要約と考察を 20 分程度発表してもらいます。「信徒の神学を求めて」、できるだけ分かりやすく語り合えれば幸いです。

・テキスト:基本的に毎回、前の回までに様々な神学テキストを指定し、コピーを配布します。

「ヘブル語中級」 4単位 木曜日 城倉啓

ヘブライ語初級講義を前提にして、ルツ記のヘブライ語原典を読みます。脚注などの本文批評には踏み込まず、とにかく本文を読み進め、原典で読む楽しさを身に着けます。できれば学期でルツ記を読破する予定です。

・テキスト:『Biblia Hebraica Stuttgartensia』K. Elliger, Deutsch Bibelgesellschaft Stuttgart, 1977. 『超入門ヘブル語のススメ聖書を原語で読もう』城倉啓、いのちのことば社、2022 年。『ヘブル語語彙集』城倉啓、いのちのことば社、2022 年。

・参考書:『聖書ヘブライ語日本語辞典』谷川政美、ミルトス、2018 年。

「教会音楽概論」 4単位 金曜日 江原美歌子 / 小松澤恵

教会音楽の目的、重要性、使命を踏まえ、礼拝・宣教・教育・牧会の中での役割を学んでいきます。聖書(旧約、新約)から賛美の基本、姿勢を押さえ、実践では、礼拝での賛美・会衆賛美の役割、賛美歌の選曲、『新生讃美歌』の特徴、使い方について学びます。最後に牧師、教会音楽奉仕者として、礼拝を支える働きであるチームの役割を考えていきます。

・テキスト:『キリスト者の礼拝 神学と実際』(キリスト新聞社)、『新生讃美歌ブックレット』(日本バプテスト連盟)

「説教演習」 4単位 金曜日 内藤淳一郎

「コリントの信徒への手紙一」から7か所のテキストを学ぶ。①「釈義から説教へ」。新共同訳聖書を使用するが、ギリシャ語聖書原典、他の日本語翻訳聖書も参考にする。聖書注解書は、神学校図書室に備え付けのものを利用できる(コピー可。ただし持ち出し禁止)。なお、自分用の注解書を備えることが望ましい。②「説教演習と講評」。③ウィリアム・ウィリモン「牧師」(新教出版社)を読む。

「和声学」 4単位 土曜日 十時節子

和声学の基礎を理論的に学び、会衆賛美や賛美演奏など実践への応用を習得していきます。前半は和声学の学び、そして後半はコードの仕組みや機能の働き、コードプログレッションを学んでいきます。ハーモニーにより賛美がより豊かになるよう、理論的な裏づけと共に、自分の耳や感性を研鑽していきます。

・テキスト:『和声法がさくさく理解できる本』土田京子著、ヤマハミュージック

・参考書:①『和声法講座(解きながら身につく・課題付)』土田京子著、ヤマハミュージック

②『新版実用和声学―旋律に美しい和音をつけるために―』中田喜直著、音楽乃友社

③『実践コード・ワーク理論編』篠田元一著、リットーミュージック

*公開講座「合唱」 2単位 土曜日 山中臨在

個性の異なる者たちが互いに聞き合い、受け入れ合い、支え合って一つのハーモニーを奏でて主を賛美する恵みや豊かさそしてその意義を、合唱を通して学ぶ。また、神学校の入学式、卒業式、演奏会等で神学校聖歌隊として奉仕する。本校神学生以外の一般参加者も広く参加を歓迎する。